

受験番号

2025年度 大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 解答用紙

専門科目〔人間行動心理学専攻〕

評価	
----	--

解答する問題の記号に○をつけて解答しなさい。1問につき1枚の解答用紙を使ってください。
 なお、3問以上選択して解答した場合は採点の対象となりません。

【 I II III IV 】

I
<p>A 1 1950年代初頭に通信工学分野でレーダーによる物体検知の問題のために提案された考え方で、タナーとスウェッツにより心理学に適用されるようになった。ノイズの中から信号を検出する際の検出者の反応を定量化する理論である。観察者内外で発生しているノイズの存在下で、観察者は刺激を観察し、その結果として観察者内部の心理的連続体（感覚量が表わされる心理的座標軸）に生じる確率変数の値に応じて、刺激中に信号が含まれるか否かについて判断を下す。</p>
<p>A 2 物体から反射される光の分光分布は、その物体の分光反射率だけでなく、それを照明する光源の分光分布にも依存している。すなわち、照明環境によって、視対象となる物体の色は変化する。これに対して、私たちの脳では、照明光による色の変化を取り除き、安定した物体表面の色を知覚しようとする。これを色の恒常性という。</p>
<p>A 3 心理的時間の処理プロセスは、内的時計段階、記憶段階、判断段階の大きく3つの段階に分けられ、さらに、内的時計段階はペースメーカー、注意ゲート、蓄積器の3つのプロセスが想定されている。最初に、ペースメーカーから一定の間隔で発生する信号が蓄積器に送られる。その際、時間経過に対し注意が向けられた場合にのみ、信号は注意ゲートを通過し、時間情報として蓄積器に蓄積される。その後、蓄積器の時間情報は記憶段階に送られる。判断段階では、記憶段階のワーキングメモリー内の時間情報と、基準となる過去の参照記憶内の時間情報を比較し、心理的時間の長さが決定される。</p>
<p>B 1 私たちの脳には、耳や目などを通じて常に様々な情報が入ってくる。しかし、全ての情報を処理していたら脳がパンクしてしまう。そこで、脳は情報処理の効率化のために、自らが「選択的に」注意を向けた情報を優先的に処理する。そして、それ以外の情報をシャットアウトしてしまう。このように複数あるうちの1つ情報に対して向けられた注意のことを選択的注意という。カクテルパーティーの例では、注意を向けたグループの会話だけが優先的に情報処理され、それ以外のグループの会話はシャットアウトされてしまう。※両耳分離聴の実験の例を出して説明してもよい。</p>
<p>B 2 ある問題を解決する際に、必ずしも成功するとは限らないが、うまくいけば解決に要する時間や手間を減少することができるような手続きや方法のことである。利用可能性ヒューリスティック（どれだけの事例をすぐに思い出すことができるかを基準値として生起頻度を推定する方法）や代表性ヒューリスティック（実際の出来事が、そのカテゴリーの概念や典型例とどれくらい合致しているかによってその可能性を判断する）などがある。</p>
<p>B 3 概念や知識は意味空間上の距離で表されており、意味的に関連する概念どうしが結びついて意味的なネットワーク構造をなしている。ある概念が活性化されると、他の概念へと自動的に活性化が広がっていく</p>

受験番号

2025年度 大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 解答用紙

専門科目〔人間行動心理学専攻〕

評価	
----	--

解答する問題の記号に○をつけて解答しなさい。1問につき1枚の解答用紙を使ってください。
 なお、3問以上選択して解答した場合は採点の対象となりません。

【 I II III IV 】

II	1.	<p>Bandura は、人間の行動は「先行要因」「結果要因」および「認知要因」が相互に影響しながら制御されると仮定している。その際「先行要因」が不明確な場合、つまり、外的な制約が少なかったり、曖昧な場面であったり、ストレスに満ちた場面では、「認知要因」の役割が強まり、その場に適切と思われる行動を選択し、実行することは個人の認知的判断に任される。従来の研究では、自分にとって大きなメリットが期待される行動が選ばれ、実行されると考えられていた。</p> <p>この点に関して Bandura は「期待」を「効力期待」と「結果期待」とに分けて検討することを提唱した。つまり、従来から検討されていた「期待」は、「ある行動を行えばある結果が得られる」という期待であり、これを Bandura は「結果期待」と呼んだ。それに対して、「ある行動を行えばある結果が得られる」という「結果期待」をもたらす「その行動」を自分がどれだけ実行できるかに関する期待を「効力期待」と呼んでいる。この「効力期待」は「効力予期」と呼ばれることもあり、これが Bandura のいう自己効力感である。すなわち自己効力感とは、「ある行動を上手くやれるという、『いまここ』での、個人の認知判断」をいう。</p> <p>ある行動に対する自己効力感が高まれば、その行動を実際に遂行する確率は高くなり、一定の条件が満たされれば、その相関係数は .90 以上と言われている。自己効力感は全ての動機づけの基礎とも言われている。</p> <p>なお、自己効力感は本来、対象となる高度に関する個人の認知判断として定式化された。一方、グループやチームなどの成員が、自分のグループやチームが組織として、一定の活動をうまく実行できるという感覚を「集合的効力感」という。</p>
II	2.	<p>① 遂行行動の達成 実際の経験をとおして自分がある行動をできるか否か、その行動に関する自己効力感を判断できる。直接経験の情報は最も強力に信頼できる。 この遂行行動の組み込んだ参加モデリングは自己効力感を高めるために効果的な方法として知られている。ある行為に関する自己効力感が低い人を対象に、その行為に関する自己効力感を高める際、その人と類似したモデルが当該行為を遂行することを観察させる。その直後に、その人にモデルが行った行為を実行させる。この参加モデリングを活用することにより、効果的に自己効力感を高めることができることが知られている。</p> <p>② 代理的経験 他者の行動を観察して、自分の効力感を判断する。類似した他者ができることは自分もできると判断する。その際、自分自身が実際に遂行することを前提としていない。これが参加モデリングとは異なる点である。</p> <p>③ 言語的説得 信頼できる他者の説得により、自分はやれると判断することがある。説得は具体的な経験に基づかないので、形成された効力感は弱く、何らかの障害を経験すると容易に消失する。</p> <p>④ 情動的喚起 ある行動を遂行しようとする場合、情動が生じる。とくにストレス場面においては情動が強くなり、情動の大きさにより効力感を判断することがある。 上記、自己効力感に影響する4つの源泉の効力は「遂行行動の達成」が最も強く、「代理的経験」「言語的説得」「情動的喚起」の順番で弱まっていくことが知られている。</p>

受験番号

2025年度 大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 解答用紙

専門科目〔人間行動心理学専攻〕

評価	
----	--

解答する問題の記号に○をつけて解答しなさい。1問につき1枚の解答用紙を使ってください。
 なお、3問以上選択して解答した場合は採点の対象となりません。

【 I II III IV 】

III 1.
<p>①愛着機能尺度 (Attachment-Function Scale; AFS)を作成することである。AFSは、「安全基地」、「安全な避難所」、「近接性の維持」を下位概念と設定。青年期以降における愛着機能に関する期待、すなわち、近接性の維持に関する期待、安全な避難所に関する期待、安全基地に関する期待がある。</p>
<p>②安定型 (自律/安定型) 愛着軽視型 (拒絶/回避型) とらわれ型 (不安/アンビバレント型) おそれ型 (未解決型 or おそれ/回避型) がある。見捨てられ不安と接近の回避の2軸の組み合わせから4つのスタイルに分けることができる。両者とも低いのが安定型、接近の回避が高いものが回避型、見捨てられ不安が高いのがとらわれ方、両方とも高いのが恐れ型とされる。また、見捨てられ不安は自己感の低さ、接近の回避は他者間の低さと関連がある。</p>
<p>③愛着を調べる方法には大きくわけて3つの方法がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実験法 エインズワースによって考案された「ストレンジ・シチュエーション法」が代表的なものである。1歳頃の乳児を対象にしたもので、母親との分離と再会の様子を観察する方法。母親がいなくなると不安がるが、戻ると喜ぶかなどの反応によって、「安定型」「回避型」「アンビバレント型」「無秩序型」に分類できる。 ・ 面接法 成人の場合はAAI(アダルト・アタッチメント・インタビュー)、子どもの場合はCAI(チャイルド・アタッチメント・インタビュー)と呼ばれる方法が代表的なものである。幼少期の母子関係について半構造化面接を行い、語りのスタイルによって愛着スタイルは分類できる。「安定・自立型」「軽視型」「とらわれ型」「未解決型」が、それぞれ乳児の愛着スタイルに対応する。 ・ 質問紙法 質問に対して自分で回答することによって愛着スタイルが判定できる。代表的なものは、「成人愛着スタイル尺度」Adult Attachment Style Scale (ECR:Experiences in Close Relationships inventory)がある。これは、「見捨てられ不安」と「親密性の回避」を交差する軸として、それぞれの得点の高低により、「安定型」「回避型」「とらわれ型」「恐れ型」に分類するものである。その他多くの尺度が開発されている。
III 2.
<p>①心の理論は、他者が自分とは異なる考え方や見方をしている可能性があることを理解する能力。これは、他者の行動の背後にある意図や信念を推測する直感的な心の機能とされている。</p>
<p>②他者の視点や信念(誤信念)を理解できているかを測定する「誤信念課題」が主であり、代表的なものとして「サリーとアン課題」や「スマーティーズ課題(箱の中身の予想。日本では「ポッキー課題と呼ばれることもある)」がある。これらを通して、相手が誤った情報に基づいて行動することを理解できるかを確認する。</p> <p>具体的には、サリー・アン課題(Sally-Anne task):では登場人物(アン)が、別の人物(サリー)の置いた物を知らない間に隠す(または移動させる)物語を聞かせ、「サリーはどこを探すか?」と質問する。スマーティーズ課題(Smarties task):も、原理は同様であるが、「チョコレート」の箱を見せ、中に「鉛筆」が入っていることを見せた後、「まだ箱の中身を知らない友達は、何が入っていると言うか?」と尋ねる方法。自分は物が移動されたことや中身を知っているが、他者はそれを知らないなので、知らないという考えにもとづいた行動をすることを予測できるかどうかを調べる方法である。一般に、4~5歳頃にこの課題に正答できる。</p>

受験番号

2025年度 大学院心理学研究科「前期博士課程」入学試験 解答用紙

専門科目〔人間行動心理学専攻〕

評 価	
--------	--

解答する問題の記号に○をつけて解答しなさい。1問につき1枚の解答用紙を使ってください。
なお、3問以上選択して解答した場合は採点の対象となりません。

【 I II III IV 】

IV 1.
NEO-PI-R はパーソナリティの特性論の中でもビッグ・ファイブ理論に基づく尺度である。特性論は、「やさしい」、「真面目」、「頑固」といったさまざまなパーソナリティ特性を想定し、複数のパーソナリティ特性の組み合わせからなる無限のプロフィールを仮定する。ビッグ・ファイブに対する批判として、5つのパーソナリティ特性が互いに無相関ではないことから、もっと少数にまとめられるのではないかといった批判もある。とはいえ、ビッグ・ファイブは、洋の東西を通じて普遍的に支持されている上に、人々の行動や将来の結果をよく予測するため、パーソナリティ理論の代表として確固たる地位を築いている。Costa & McCrae (1992) は、神経症傾向（不安が高い、抑うつ的な、傷つきやすい）、外向性（温かい、社交的な、刺激を求める）、経験への開放性（空想的な、行動的な、審美的な）、調和性（利他的な、やさしい、慎み深い）、誠実性（能力のある、達成志向的な、秩序的な）という5つのパーソナリティ特性を仮定する NEO-PI-R を作成した。
IV 2.
ソーシャル・サポートの定義は研究者間で一貫しておらず、心身の健康をもたらす他者からの援助というゆるやかな定義がなされている。ソーシャル・サポートの測定法として、社会的ネットワークの大きさ、密度、接触頻度などの構造的測度、ならびに他者からどのくらい道具的ないし情緒的サポートを得られるかを指す知覚されたサポートや、実際に他者からどのくらいそうしたサポートを取得したかを指す実行されたサポートなどの機能的測度がある。構造的測度を用いた研究では、ストレスの量にかかわらずつねに心身の健康をうながすことが報告されやすく、直接効果と呼ばれている。機能的測度を用いた研究では、ストレスが増えたり強くなったりしたときにはじめて心身の健康をうながすことが報告されやすく、ストレス緩衝効果と呼ばれている。